



認知症かな!? と思ったときは



人は誰でも加齢と共に脳が衰え、年相応の自然なもの忘れがみられるようになります。一方で、脳の病気やケガによるもの忘れもあります。認知症は誰もがなりうるもので、高齢社会の日本にとって今や誰もが関わる可能性のある身近な病気となりました。認知症はそのタイプによって早期であれば治療や進行を遅らせることができる可能性があります。もの忘れに関して一人で悩まずに、かかりつけ医や下記相談先へご相談ください。

家族が作った認知症早期発見の目安



日常の暮らしの中で、認知症の始まりではないかと思われる言動を「認知症のひとと家族の会」の会員の経験からまとめたものです。医学的な診断基準ではありませんが、暮らしの中で目安として参考にしてください。

◎ もの忘れが目立つ

- 今切ったばかりの電話の相手の名前を忘れる。
- 同じことを何度も言う、問う、する。
- しまい忘れや置き忘れが増え、いつも探し物をしている。
- 財布、通帳、衣類などを盗まれたと人を疑う。

◎ 意欲がなくなる

- 下着を替えず、身だしなみを構わなくなった。
- 趣味や好きなテレビ番組に興味を示さなくなった。
- ふさぎ込んで何をすることもおっくうがり嫌がる。

◎ 不安感が強い

- ひとりになると怖がったり寂しがったりする。
- 外出時、持ち物を何度も確かめる。
- 「頭が変になった」と本人が訴える。

◎ 判断・理解力が衰える

- 料理、片付け、計算、運転などのミスが多くなった。
- 新しいことが覚えられない。
- 話のつじつまが合わない。
- テレビ番組の内容が理解できなくなった。

◎ 人柄が変わる

- 些細なことで怒りっぽくなった。
- 周りへの気づかいがなくなり頑固になった。
- 自分の失敗を人のせいにする。
- 「この頃様子がおかしい」と周囲から言われた。

◎ 時間・場所がわからない

- 約束の日時や場所を間違えるようになった。
- 慣れた道でも迷うことがある。

相談窓口	連絡先	担当地域
地域包括支援センター 而今	☎685-3294	喜連川全域、押上、長久保、蒲須坂、松島、箱森新田、松山新田
地域包括支援センター エリム	☎681-1150	上記地域を除く氏家地区
市役所 高齢課	☎681-1155	市内全域

県北圏域の認知症疾患医療センター

佐藤病院 ☎0287-43-1150

烏山台病院 ☎0287-82-0051



もの忘れ相談会

専門職（精神保健福祉士等）が中心となり、もの忘れや認知症に関する様々な悩みや相談を個別でお受けいたします。相談は無料で、申し込み等も必要ありません。

【会場】 偶数月 … 氏家図書館（2階 会議室）

奇数月 … 喜連川図書館（2階 視聴覚室）

【日程】 第3木曜日 午後2時～午後4時



ちょうど
いい！
さくら市

